

業務説明資料

本説明書に記載した内容には、現在検討中のものも含まれるため、本プロポーザルのみの設定条件とし、将来の業務実施の条件となるものではありません。

1 件名

金沢区心部まちづくり検討業務委託

2 履行期限

契約の日から平成 31 年 3 月 28 日まで

3 履行場所

金沢区区政推進課ほか

4 業務の背景と目的

金沢文庫駅から金沢八景駅にかけての金沢区心部（※）は、商業施設や行政施設等が集積し、区民生活に欠かせない役割を担っています。周辺には、称名寺をはじめとした歴史資源・文化資源も多数存在するほか、横浜市立大学や関東学院大学とも近接し、これらを訪れる区外からの来街者にとって、起点となるエリアにもなっています。さらに、金沢八景駅周辺では、土地区画整理事業や金沢シーサイドラインの延伸工事などが進み、交通の結節点としての重要度も増しています。

また、金沢区心部のほぼ中央に位置する金沢区総合庁舎周辺には、国家公務員住宅をはじめとした大規模な土地が存在しています。今後、金沢区心部が、金沢区の中心的なエリアとしての役割を果たしていくためには、これらの将来的な土地利用を含めたまちづくりの具体的な指針が重要になります。

平成 30 年 3 月に改定した「横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン『金沢区まちづくり方針』」では、おおむね 20 年後のまちの将来像として、「金沢区心部におけるまちづくり方針」を記載していますが、将来的な土地利用を含めたまちづくりの具体的な指針を検討するにあたっては、金沢区心部における課題や可能性を整理する必要があります。また、持続的なまちづくりを可能にするためには、区民や事業者と共に検討を進めることが重要です。そこで今年度は、金沢区心部におけるまちづくりの課題と可能性を整理するとともに、区民や事業者とともにまちづくりの具体的な指針を検討・整理することとしました。

※金沢区心部…「横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン『金沢区まちづくり方針』」（平成 30 年 3 月）において、金沢文庫駅から金沢八景駅にかけてのエリアを「金沢区心部」として位置づけ、まちづくり方針を定めました。（4 頁の【参考】を参照してください。）

5 業務概要

(1) 課題及び可能性の整理

アについてイの手法により調査を行い、金沢区心部まちづくりの課題と可能性を整理する。

ア 実態及び可能性調査

(ア) 金沢区心部における住まいの場所としての可能性に関する調査

- a 住まいの場所としての実態
- b 住民側（区民や近隣区・市の住民）の居住ニーズ
- c 供給側（事業者側）から見た住む場所としての可能性とその特徴
- (イ) 金沢区心部における働く場所としての可能性に関する調査
 - a 働く場所としての実態
 - b 住民側（区民や近隣区・市の住民）の就業意欲等、職場としてのニーズ
 - c 金沢区の特性（二つの大学、複数の観光施設などが立地）を踏まえた企業側からの進出の可能性とその業種・業態
- (ウ) 金沢区心部における生活利便施設等（銀行、郵便局、病院、スーパーマーケット、商店街、飲食店、クリーニング店、コンビニエンスストア等）の導入の可能性に関する調査
 - a 生活利便施設等の実態
 - b 住民側（区民や近隣区・市の住民）の生活利便施設等に対するニーズ
 - c 商業施設の過不足状況とそれらを踏まえた立地の可能性
- (エ) 金沢区心部におけるその他の機能（観光、娯楽、スポーツ、環境等）の導入の可能性に関する調査
 - a その他の機能の実態
 - b 金沢区心部への来訪者の状況（来訪目的・施設、来訪手段等）
 - c 地域活動（金沢区心部、金沢区…担い手になりうる団体や連携できそうな活動）の状況
 - d 住民側（区民や近隣区・市の住民）のニーズ
 - e 金沢区の特性（二つの大学、複数の観光施設などが立地）を踏まえた企業側からの進出の可能性
- (オ) 金沢区心部におけるインフラ・交通などハード面での課題調査

イ 調査方法

アについて、調査内容に応じて適した方法を用いて実施する。

- (ア) 各種統計データ
- (イ) アンケート
- (ウ) ヒアリング、インタビュー
- (エ) その他、調査に有効と考えられる方法

(2) 金沢区心部におけるまちづくりの具体的な指針の整理

(1)を踏まえ、市民参加型の検討経過を経て金沢区心部におけるまちづくり具体的な指針を整理する。

(3) 具体施策の提案

(2)の金沢区心部におけるまちづくり方針を実現するための具体施策を提案する。

(4) 庁内外検討部会の運営補助

契約締結後から3月まで、月に1回程度開催する予定の庁内外検討部会（出席者数は概ね20人程度）に必要な資料の作成及び議事録の作成を行う。

6 スケジュール

5(1)については12月頃まで、(2)については2月頃までに調査を行うことを予定しています。

7 成果品

- (1) 報告書（A4判・冊子） 3部
- (2) 成果品電子データ（CD 又は DVD 等※使用するソフトウェアとバージョンを記載すること。） 1枚
- (3) 提出先 横浜市金沢区総務部区政推進課企画調整係

8 その他

業務の進捗状況について、定期的に横浜市に報告すること。横浜市が進捗状況の報告や資料の提出を求めた場合、特段の理由なくこれを拒んではなりません。

【参考】（「横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン『金沢区まちづくり方針』」より抜粋）

●金沢区心部におけるまちづくり方針

海や歴史など金沢区ならではの豊富な地域資源を生かしながら、商業、業務、文化、行政等の都市機能が集積するゾーンとして、3つの主要エリアの連携促進を図り、一体的なまちづくりを目指します。

また、金沢区心部内を誰もが円滑に行き来できるよう、「バリアフリー基本構想」に基づき環境整備を進めます。

さらに、人口減少や少子高齢化のさらなる進行への対応、交流人口増加による地域活性化など将来を見据えたまちづくりを進めることで、持続的で魅力的な金沢区心部を形成していきます。

【金沢文庫駅周辺】

- 地域の生活拠点として、商店街の魅力を生かしながら、商業、業務等の集積や老朽化建物の改善を図り、活力と魅力あるまちづくりや街並み景観づくりを進めます。これに向け、まちの将来像やまちづくりの新たな手法について地域と行政が協働しながら検討します。
- 東側の交通広場については、駅利用者などが安全に利用できるよう整備を進めます。
- 周辺に点在する称名寺をはじめとした歴史資源との連携を視野に入れ、観光・交流の起点となるよう環境整備を進めます。

【金沢区総合庁舎周辺】

- 金沢文庫駅周辺と金沢八景駅周辺との連携を促進する中心的なエリアとして市街地形成を図ります。
- 大規模な土地利用転換にあたっては、都市計画制度の活用などにより商業、行政機能等と住居系機能とがバランスよく共存した、区心部にふさわしい土地利用を誘導するとともに、良好な景観形成を図ります。

【金沢八景駅周辺】

- 地域の生活拠点として、土地区画整理事業を進め、商業、業務等の集積を図り、地域と協働しながら、活力と魅力あるまちづくりを進めます。
- 臨海地域と金沢シーサイドラインで結ばれ、アクセスが高まったことから、臨海部の産業団地や近接する2つの大学、さらに周辺に点在する海や歴史などの地域資源との連携を視野に入れ、観光・交流の起点となるよう環境整備を進めます。

